

「節水」で守ろうみんなの水資源

水は、人が生活するために欠かすことのできない「大切な資源」です。私たちは地下水の豊富な地域に住んでいますが、水をムダ使用すると、いつか無くなってしまいかもかもしれません。

いつまでもきれいな水が使えるように、私たちにできることから始めましょう。



家庭でできる節水対策

節水は、必要な水までガマンすることではなく、ムダなく上手に水を使うことです。



お風呂

★残ったお湯を、せんたく・そうじ・植木の水やりなどに使う

★シャワーを使う時は、出しっぱなしにしない



せんたく

★せんざいは適量を使い、よこれ別にせんたく機のコースを選ぶ

★せんたく物はまとめてせんたくする



学校でも

★使い終わったら、水がきちんと止まっているか確認する

★蛇口はこまめに止めて、水を出しすぎない



台所

★水を出しすぎないで、食器や野菜をあらう

★せんざいは適量を使い、水をためてあらう



洗面

★顔をあらう時は、洗面器を使う

★歯みがきにコップを使う



トイレ

★必要以上に水を流さない

★大・小レバーを使い分ける

★トイレの水が止まらない時は、すぐにおとなの人に教えます

地下水ができるまで

大津町・菊陽町の水道に使われている水は、すべて「地下水」です。阿蘇の山や台地に降った雨、田んぼの水などが長い年月をかけて地下にしみこみ、水を通しにくい地層の上にある「地下水プール」という場所に、たくさん貯まっています。雨や田んぼの水は、石や砂などいろいろな地層を通してしみこむ間に「ろ過」され、とてもきれいな地下水になります。また、岩石のミネラル分をどかしながらしみこんでいくので、カルシウムやマグネシウムなど多くの栄養分をふくんでいます。私たちの町の水道の水がおいしいのは、こうした「自然のめぐみ」があるからです。

美しい水を未来へ

日本のほとんどの水道は、川やダム、海の水を「浄水場」できれいな水にして届けていますが、私たちの町の水道では、きれいな地下水のおかげで浄水場はいりません。もしも、ゴミや有害なものが地下にしみこんで地下水がよごれてしまったら、なかなか元にもどすことはできません。この美しい水をいつまでも安心して飲めるように、一人一人がよごさないように気をつけることが大切です。企業団では、木を植えて森を育てることで、山が地下水を貯える力を無くさないように、自然を守る運動に参加しています。



すいどろ Q&A

◎水はどこから来るの？

自然にわき出てくる「わき水」とポンプでくみ上げた水がありますが、どちらも同じ地下水です。地下水を一度「配水タンク」に貯めてから道路の下の水道管を通して、みなさんへ届けています。

◎地下水はそのまま水道水になっているの？

そのまま飲めるほどきれいな地下水ですが、安全のために「次亜塩素酸ナトリウム」という消毒液を使って消毒しています。

◎みんなが一度に水道を使っても、水は無くなるの？

みんなが一度に水を使っても無くなるようないように、配水タンクに貯めています。大きな配水タンクでは、3,000㎡(学校のプールで8はいくらいい)の水を貯めることができ、いつでもたくさんの方が水を使えるようになっています。

◎私たちは、1日にどのくらいの水を使っているの？

大津町・菊陽町の人には、1日に1人で285リットル(くらの水)を使っています。バケツで29はいくらいいの量になります。

